

プール整備にかかる検討状況について

1. 検討の方向性 (11/18 県民生活・土木交通常任委員会報告)

- (仮称)彦根総合運動公園の整備に伴い現スイミングセンターを廃止することから、代替施設について、県としてのプール整備を検討すべきであるが、県内市町が主体的にプール整備を検討される場合は支援を検討。
- 先般、大津市からプール整備の要望があったが、国体に向けた市単独での皇子が丘公園プールの整備は困難であるとのことから、今後、大津市と整備主体や手法について検討し、協議を行うとともに、他の市町のプール整備の御意向も伺いながら今年度内に整備の方向性を決定。

2. 県の基本的な考え方

- 2024年の国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、プールを整備する市町を県が支援することとし、県も整備・運営経費を負担することをもって共同とする。
- 県立スイミングセンターが担うべき機能と市町立プールとしての機能を兼ね備えた施設となることから、整備手法や運営経費も含めた県の費用負担のあり方について検討する。
- 国体・全国障害者スポーツ大会の円滑な開催はもとより、将来に向け年間を通じ利用者である県民・市町の住民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができる環境を確保する観点から、50m屋内温水プール、25m屋内温水プール、飛込プールの整備を検討する。

3. 今後の検討の進め方

- 2の考え方に基づき、大津市を含む各市町に対して県の支援を受けたプール整備の意向の有無について確認を行う。

参考：彦根総合運動場スイミングセンター 施設概要

○50m公認競泳プール

屋外（国内一般プールA） 9コース 水深1.3～1.6m（固定）

○25m公認競泳プール

屋外（H20年度まで屋内温水） 7コース 水深1.2～1.4m

○公認飛込プール

屋外 水深3.8～5.0m